


2018年12月6日

動物実験計画書

宮城学院女子大学学長 殿

申請者 所属 生活科学部食品栄養学科 職名 准教授  
氏名 後藤 知子 

宮城学院女子大学動物実験指針第7に基づき、提出します。

1 実験担当者等

実験担当者（教員）

生活科学部食品栄養学科 准教授

氏名 後藤 知子

実験担当者の動物実験の経験および教育訓練の経験

動物実験の経験 24年, 教育訓練の経歴 有

実験分担者（助手、学生）

所属 石巻専修大学工学部生物科学科 4年 川島 英里子

所属 石巻専修大学工学部生物科学科 教授 佐々木 洋

実験期間

2018年12月10日（月）～2019年1月28日（月）

【動物飼育期間 2018年12月13日（木）～2019年1月17日（木）】

2 動物実験名（教育・研究課題）

微細藻類クロレラがラットの脂質代謝・ミネラル出納に及ぼす影響

3 実験動物（実験動物の種・系統・性別・使用匹数を含む）

ラット：Slc:SD (SPF) 雄 20匹

4 動物実験の目的（動物実験を必要とする理由を含む）

微細藻類クロレラ摂取後ラットの脂質代謝・ミネラル出納を追跡することを目的とするため、実験動物ラットへの経口投与による検証が必要となる。クロレラ摂取については既に以前より、実験動物および人に対する安全性が明らかにされてきた。本検討では、さらなる有用性の探索として、脂質代謝とミネラル出納を検証することを目的とする。

5 動物実験の概要（飼育環境、飼育方法、苦痛軽減の処置、実験終了後の処置を含む）

持続—自由給餌法で、金網ブラケットケージで個別飼育する。飼育室の条件は温度 23℃, 湿度 50%, 明暗周期 08:00—20:00 明期, 20:00—08:00 暗期とする。飼育期間は毎日給餌, 給水, 体重測定を行う。解剖はペントバルビタールで麻酔後、十分に麻酔がかかっていることを確認後、開腹し、全血採血し、苦痛なく屠殺（安楽死）・解剖に供する。

6 動物実験実施場所

家政館 5階動物実験室

2018年12月6日

動物実験計画書

宮城学院女子大学学長 殿

申請者 所属 生活科学部食品栄養学科 職名 准教授

氏名 後藤 知子



宮城学院女子大学動物実験指針第7に基づき、提出します。

1 実験担当者等

実験担当者（教員）

生活科学部食品栄養学科 准教授

氏名 後藤 知子

実験担当者の動物実験の経験および教育訓練の経験

動物実験の経験 24年, 教育訓練の経歴 有

実験分担者（助手、学生）

所属 生活科学部食品栄養学科 4年 清水みのり

実験期間

2018年12月10日（月）～2019年1月28日（月）

【動物飼育期間 2018年12月13日（木）～2019年1月24日（木）】

2 動物実験名（教育・研究課題）

亜鉛欠乏がラットの食塩嗜好、ホルモン分泌、育児行動に及ぼす影響

3 実験動物（実験動物の種・系統・性別・使用匹数を含む）

ラット：Slc：SD（SPF） 雄20匹、雌10匹

4 動物実験の目的（動物実験を必要とする理由を含む）

亜鉛欠乏が食塩嗜好、ホルモン分泌、育児行動に及ぼす影響を追跡することを目的とするため、実験動物による検証が必要となる。すでに本検討の実験内容にて、安全面について確認しており、実験手技も習熟し、実験動物に対する苦痛を削減するよう努めるものとする。本検討では更に、亜鉛欠乏ラットにおける種々の影響の作用機構を検証することを目的とする。

5 動物実験の概要（飼育環境、飼育方法、苦痛軽減の処置、実験終了後の処置を含む）

持続-自由給餌法で、金網ブラケットケージで個別飼育する。飼育室の条件は温度23℃、湿度50%、明暗周期08：00-20：00明期、20：00-08：00暗期とする。飼育期間は毎日給餌、給水、体重測定を行う。解剖はペントバルビタールで麻酔後、十分に麻酔がかかっていることを確認後、開腹し、全血採血し、苦痛なく屠殺（安楽死）・解剖に供する。

6 動物実験実施場所

家政館5階動物実験室